

集い・憩い

お年寄りから、子供まで、様々な世帯を繋ぐキッチン空間



「凹凸」の台所と「円形」の食卓の配置

対立性

子どもがグルグル回れる回遊性のある動線である。一方、お年寄りには最短距離で移動できる固定動線になる。

協調性

お年寄りや子どものニーズを満足させる配置で、ガラス張りの中庭で外の景色を見ながら、一緒に料理を味わえ団円の生まれるキッチン空間である。

ガラス張り

お年寄りの動線

食卓

子どもの動線

台所

植物



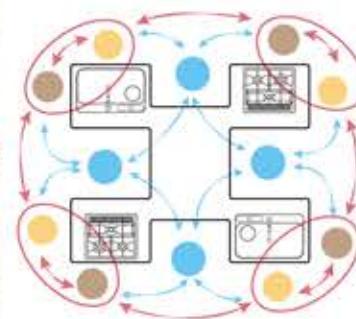
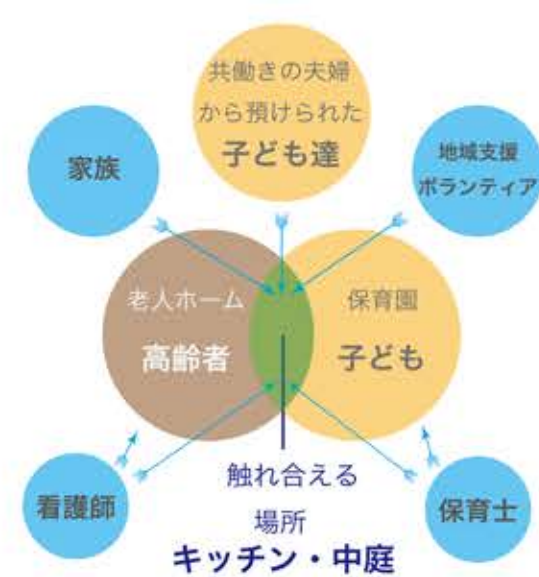
CONCEPT

高齢化や少子化問題が深刻、労働力が不足している日本には、現代社会に相応しい未来介護に注目されていると考えられます。未来介護とは、「地域共生型福祉施設」のことである。

老人ホーム + 保育園 + ファミリーサポートセンター

このような施設の中にある、開放感溢れるキッチンは高齢者や子どもが触れ合える場所になる。

● 高齢者 ● 子ども ● 家族、スタッフ、ボランティア



「凹凸」の台所
「凹凸」な形に、最大12人一緒に作業ができ、会話と笑顔が溢れる作業ベースである。一方、スタッフ達が作業中のお年寄りや子供を見守れる台所になっている。◀▼

「円形」の食卓
いくつかの円形が組み合わさった形状で、皆さんが自然に囲むような食卓になっている。食卓の真ん中は植栽を置く場所になっており、中庭で和気藹々と一緒に食事する。▼▶

